

## 健康支援

### 1 特定保健指導

特定保健指導が開始された平成20年4月より、標準的な健診・保健指導プログラムに基づき、実施主体である医療保険者からの委託を受け、「動機づけ支援」及び「積極的支援」を実施している。

今年度は29団体から委託を受け、1,615人\*の特定保健指導を実施した。

\*実施者数に市町で実施した初回面接17人を含む

表1 特定保健指導実施状況

	実施者数	終了者数		途中終了者数		支援継続者数(%)	
		評価終了(%)	督促終了*1(%)	脱落*2(%)	資格喪失*3(%)		
動機づけ支援	男	722	612(84.8)	86(11.9)	9(1.2)	8(1.1)	7(1.0)
	女	411	343(83.5)	62(15.1)	3(0.7)	1(0.2)	2(0.5)
積極的支援	男	398	298(74.9)	4(1.0)	90(22.6)	3(0.8)	3(0.8)
	女	84	47(56.0)	1(1.2)	31(36.9)	2(2.4)	3(3.6)
総数	男	1,120	910(81.3)	90(8.0)	99(8.8)	11(1.0)	10(0.9)
	女	495	390(78.8)	63(12.7)	34(6.9)	3(0.6)	5(1.0)

表2 動機づけ支援実施状況

	実施者数	終了者数		途中終了者数		支援継続者数(%)	
		評価終了(%)	督促終了*1(%)	脱落*2(%)	資格喪失*3(%)		
国保	男	479	409(85.4)	50(10.4)	8(1.7)	5(1.0)	7(1.5)
	女	304	269(88.5)	30(9.9)	3(1.0)	0(0.0)	2(0.7)
社保	男	243	203(83.5)	36(14.8)	1(0.4)	3(1.2)	0(0.0)
	女	107	74(69.2)	32(29.9)	0(0.0)	1(0.9)	0(0.0)

表3 積極的支援実施状況

	実施者数	終了者数		途中終了者数		支援継続者数(%)	
		評価終了(%)	督促終了*1(%)	脱落*2(%)	資格喪失*3(%)		
国保	男	185	116(62.7)	4(2.2)	64(34.6)	0(0.0)	1(0.5)
	女	57	29(50.9)	1(1.8)	23(40.4)	2(3.5)	2(3.5)
社保	男	213	182(85.4)	0(0.0)	26(12.2)	3(1.4)	2(0.9)
	女	27	18(66.7)	0(0.0)	8(29.6)	0(0.0)	1(3.7)

\*1督促終了とは、半年後の評価ができず、度重なる督促をもって終了した者

\*2脱落とは、最終利用日から未利用のまま2ヶ月経過した者や支援途中で服薬開始となった者等

\*3資格喪失とは、退職等により保険が変更になった者

## 2 専門職の派遣、健康教育等の受託

専門職の派遣は市町等からの委託を受け、7団体に対して176日実施した。また、健康教育等は12団体から依頼や委託を受け、19日実施した。その他、健康に関する啓発イベントに協力した。

表4 実施状況

		実 施 団体数	実施回数	職種別派遣回数		
				保健師	管理栄養士	健康運動 指 導 士
専門職の派遣	地 域	5	173	159	32	0
	職 域	2	3	3	0	0
	学 域	0	-	-	-	-
健康教育の 受 託	地 域	2	5	5	1	4
	職 域	8	12	15	3	3
	学 域	2	2	1	0	1
啓発イベント		2	2	2	0	0

## 3 健診データ等の統計・解析の実施

地域・職域診断サービスシステムを用いた健診結果報告書を26団体に提供した。また、そのうち16団体に対して個別に結果説明を実施した。

表5 地域・職域診断サービス健診結果報告書件数

	作成団体数	結果説明実施団体数
地 域	14	9
職 域	12	7
総 数	26	16

## 4 至急精検対象者への受診勧奨

集団健診受診後、至急の精密検査が必要な方に対し、受診団体の保健師や衛生管理者等と連携し連絡体制をとっている。平成27年度は延べ535人が対象となり、がん検診では201人が対象となった。

表6 至急精検連絡件数

	胃がん	胸部*	子宮頸がん	乳がん	前立腺がん	その他**	総 数
地 域	30	53	28	74	3	56	244
職 域	2	22	0	7	1	37	69
学 域	-	2	-	-	-	220	222
総 数	32	77	28	81	4	313	535

\*結核検診21名を含む

\*\*血圧・心電図・血液など（学域健診は腎臓検診を含む）

## 5 発見がん追跡調査

平成26年度に集団健診や人間ドックを受け、精密検査が必要になった受診者のうち、市町や医療機関から送付された精密検査結果連絡票に、「がん」または「がんの疑い」と診断された方について、確定診断の状況（病理、組織、形態学的）の調査を実施した。

調査内容は、各がん取り扱い規約に基づき実施した。

表7 集団検診

	胃がん	肺がん	大腸がん	子宮頸がん	乳がん	前立腺がん
調査件数	95	77	157	67	162	400
回収件数	93	75	155	66	158	381
回収率	97.9	97.4	98.7	98.5	97.5	95.3

表8 人間ドック

	胃がん	肺がん	大腸がん	子宮頸がん	乳がん	前立腺がん	腹部超音波	甲状腺がん
調査件数	19	9	2	1	13	9	6	4
回収件数	19	9	2	1	13	9	6	3
回収率	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	75.0

## 6 健康相談センター

平成27年度は196人から228件の相談があった。内容は血液、胃、超音波、肺などの検査所見に関するものが多かった。また、市町、事業所、学校、医療機関からの問い合わせのほか、一般の健康相談にも対応した。

表9 相談の詳細内容と件数

詳細内容	件数（延べ）
検査所見の説明	87
医療機関紹介	48
検査内容	16
生活習慣アドバイス	11
その他	66
計	228